

伺うと、中操のところで、何か通電させてやっていたというようなことを言っている。

○回答者 これを開けるのに苦労した覚えはないんですよ。だから、運転員に聞かないと、ちょっとわからないです。

○質問者 では、ここはちょっと確認しましょう。炉主任の方もわかりますかね。

○回答者 炉主任はわからないですかね、今日来ていた■■■■だとか。

○質問者 ■■■■さん来られているんですか。

○回答者 ええ、■■■■だとか、あの辺は一番詳しいですから、あの辺に聞いていただいた方が、私も実際に直接運転をやった経験がないものですから、個別に聞くとちょっとわからないところがあります。申し訳ございません、スペシャリストではないので。

○質問者 それから、更に既設の復水補給水系で格納容器冷却系の流量遠隔操作で、ここもそうですね、ここを設置し、ここは接続配管を。

○回答者 はい。

○質問者 それから、次に格納容器からの除熱機能に関わるアクシデントマネジメント策ですけれども、ここの中で、1つがドライウェルクーラー、それで原子炉冷却材浄化系による代替除熱というのがあって、これは例えば格納容器がすごく圧力が上がってというような状況のときに、今回は、使えているんですか。

○回答者 使っていないですね。原子炉冷却材浄化系は、もともと CAW というものですが、これはもともとこのシステムは動きませんでしたし、それからドライウェルクーラーというのも、これは、RCW、原子炉補機冷却系というのが動かないと使えません。この2つは、まず、基本的に今回、電源がない、水源がないので使えていません。だから、要するに耐圧ベントしか残ってこないということです。

○質問者 あと、水源というのは、何になるんですか、このドライウェルクーラー。

○回答者 ドライウェルクーラーは RCW ですから、普通の補機冷却系の水なので、RCW の水は、原子炉の上にタンクがありまして、RCW の水の全体量をコントロールしているタンクがありまして、そこの水が水源になると。

これは、どちらかという、水をまくとか、ドライウェルクーラーを動かしてクーリングをしてやろうということですね。

クリーンナップは原子炉の中の原子炉冷却材を引っ張ってきてきれいにして戻して、それを格納容器で冷やす。いずれにしても、ここは2つともシステムが生きていませんから。

○質問者 こちらは電源ということ。

○回答者 ポンプが。

○質問者 ポンプを動かす電源がもうないから使えないということなんですかね。

○回答者 はい。

○質問者 そういう使えないというのは、この辺りは、交流電源が喪失して、非常用電源ももう使えないと。

○回答者 1号は、ほとんど使えないというのが、まず、最初にわかりましたでしょう。